（別紙報告様式）

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告（令和5年度報告）

市町名：

1　事業評価報告

事業実施主体名 （協議会名）	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始時期	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績 被害金額 目標値	被害金額 実績値	被害金額 達成率	被害面積 目標値	被害面積 実績値	被害面積 達成率	事業実施主体の評価
三原市鳥獣被害防止対策協議会	三原市 全域	令和2年度	イノシシ ヌートリア シカ カワウ サル	狩猟免許講習会受講料補助	6		R2.6		・狩猟免許新規取得者に対して補助を行うこどで，狩猟免許の取得を促進することにより地域の有害捕獲の担い手を育成した。	（イノシシ） 6,900千円 （シカ） 399千円 （ヌートリア） — （サル） — （カワウ） 3,322千円	（イノシシ） 8,821千円 （シカ） 1,372千円 （ヌートリア） — （サル） — （カワウ） 5,579千円	 35% —520% 32%	（イノシシ） 7.64ha （シカ） 2.22ha （ヌートリア） — （サル） — （カワウ） —	 9.51ha 1.44ha		45% 184%	三原市では，交付金事業の活用により，有害鳥獣に携わる人員を育成することにより，３年間で34名の補助を行い，有害鳥獣に携わる人員の増加が図れた。また有害捕獲について，当初計画（R2年～R4年）ではイノシシ3540頭・シカ600頭の捕獲を目標としていた。３年間の捕獲実績はイノシシ3330頭・シカ756頭のでありイノシシの捕獲はやや下回ったが，シカは目標を上回ることができた。 カワウ被害が増加していることから，カワウに対する繁殖抑制を実施することで被害軽減につなげることができた。被害防除については，自動撮影カメラなどを購入し，捕獲促進に活用した。三原市全体の野生鳥獣による被害額は目標に達していないが，鳥獣被害防止総合対策交付金事業を活用することにより，被害防除に一定の効果があった。
				デジタル簡易無線	40	協議会	R2.10	100	デジタル簡易無線を購入することで一斉捕獲時等において駆除班同士の連携が図られ効率的に捕獲を行うことができた。							
				生息状況調査	4回		R2.12		カワウの生息状況調査を行い，実際の対策につなげた							
				緊急捕獲												
				イノシシ成獣	770				・対象鳥獣を捕獲することにより，個体数調整ができ，被害防除に一定の効果があった。							
				イノシシ幼獣	179											
				シカ成獣	185											
				シカ幼獣	19											
	三原市 全域	令和3年度	イノシシ ヌートリア シカ カワウ サル	狩猟免許講習会受講料補助	14		R3.6		・狩猟免許新規取得者に対して補助を行うこどで，狩猟免許の取得を促進することにより地域の有害捕獲の担い手を育成した。							
				自動撮影カメラ	6	協議会	R3.12	100	自動撮影カメラを活用することで，農地への侵入経路の把握，箱ワナへの接近状況の確認などができ，被害軽減及び捕獲促進に効果があった							
				生息状況調査	4回		R2.12		カワウの生息状況調査を行い，実際の対策につなげた							
				ドローン	1	協議会	R3.12	100	ドローンを活用することでカワウ生息状況調査及び繁殖抑制に効果を発揮した							
				緊急捕獲												
				イノシシ成獣	982				・対象鳥獣を捕獲することにより，個体数調整ができ，被害防除に一定の効果があった							
				イノシシ幼獣	240											

				シカ成獣	258				があった。							
				シカ幼獣	19											
	三原市 全域	令和4年度	イノシシ ヌートリア シカ カワウ サル	狩猟免許講習会受講料補助	16		R4.6		・狩猟免許新規取得者に対して補助を行うこどで，狩猟免許の取得を促進することにより地域の有害捕獲の担い手を育成した。							
				生息状況調査	4回		R4.12		カワウの生息状況調査を行い，実際の対策につなげた							
				有害鳥獣研修会	4回		R4.10		有害鳥獣に関する学習会を開催し，地域住民に対しての啓発を行った							
				緊急捕獲					・対象鳥獣を捕獲することにより，個体数調整ができ，被害防除に一定の効果があった。							
				イノシシ成獣	851											
				イノシシ幼獣	308											
				シカ成獣	252											
				シカ幼獣	23											

注1）被害金額及び被害面積の目標欄については，対象鳥獣及び目標値を記し，これに合わせて他の欄も記載してください。
注2）達成率の算出方法については「実績値（＝基準年値－実績値）／目標値（＝基準年値－目標値）」であるとして算出してください。

2　第三者の意見

コメント：
この3か年の取り組みにより、イノシシ、シカの捕獲数は増えており、狩猟免許取得者増の効果は表れています。
しかし、被害金額については目標を下回っており、特にシカによる被害が増加していることから、加害個体の捕獲に加え、シカの被害発生状況を踏まえ、地域が一体となった環境改善、侵入防止への取り組みを推進してください。

東部農業技術指導所　参事　鳩野匡規

注）第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。